

J R東海労なごや

2024年12月13日No. 1244

JR東海労名古屋地方本部

発行者：松山文成

編集者：教宣部

J R総連＝組織破壊者との決別！

J R東海労 第42回臨時大会 成功裡に終わる!!!

J R東海労は12月11日、大阪市内において第42回臨時大会を開催しました。今臨時大会は、これまで33年間闘ってきたJ R東海労が、これからもJ R東海労として進んで行く方向を明確にした臨時大会であり、J R総連運動と決別をし、J R総連からの脱退を決定しました。更には、11月14日に脱退届を提出した、藪、森下、田村の三君の脱退者に対して査問委員会の設置を決定しました。

J R総連によるJ R東海労への組織破壊攻撃は、現段階において21名の脱退者が作り出されています。そして、J R東海労を除名し、脱退者によるJ Rセントラル労働組合をJ R総連に加盟させることにより、より一層J R東海労への攻撃が強まるのは必至です。現に、J R東海労組は早々と全地本代表者会議において、「J Rセントラル労働組合と連帯する」との発言があったことが、緑の風ニュースで報告されています。

産別組織の破壊を産別自体が行うという、J R総連とそれに従う労働組合には未来がありません。



本部 淵上委員長



J S 労 柳楽委員長

東海の地に労働運動の灯を消さないために
JR総連・組織脱落者による組織破壊攻撃を跳ね返し
新たな仲間の拡大を勝ち取り
JR東海労の未来を切り拓こう!